



検査項目のおはなし < 2025年版 >



— 検査結果をより良く理解していただくために —

略称	検査項目	説明	
WBC	白血球数	炎症や血液疾患の有無を調べる検査です。体内の炎症や血液疾患などで増加します。	
RBC	赤血球数	貧血の有無を調べる検査です。貧血があると低下します。	
Hb	ヘモグロビン		
Hct	ヘマトクリット		
PLT	血小板数		止血に必要な成分です。減少すると出血しやすくなります。
白血球分類	Seg	好中球	白血球の種類を調べる検査です。感染症やアレルギー、白血病などの判断の手助けとなります。
	Lymph	リンパ球	
	Mono	単球	
	Eosino	好酸球	
	Baso	好塩基球	
PT	プロトロンビン時間	血液凝固や出血傾向の検査です。PT活性低値およびPT INR、APTT高値では血液が凝固しにくくなります。	
APTT	活性化部分トロンボプラスチン時間		
Fbg	フィブリノゲン	止血に必要な成分です。低値では血液が凝固しにくくなります。	



検査項目のおはなし < 2025年版 >



— 検査結果をより良く理解していただくために —

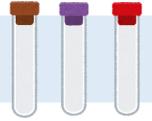
略称	検査項目	説明
IgG	免疫グロブリンG	体内に異物が入ると、体の細胞は活性化し異物を排除するのを助けるために糖蛋白質を産生します。この糖蛋白質を免疫グロブリンといい、抗体とも呼ばれます。 IgG・・・感染後期に持続的に産生され、感染症などで増加します。 IgA・・・唾液、涙液、乳汁中の主な抗体で、粘膜を防御しています。 IgM・・・感染初期に一過性に増加し、感染症などで増加します。 IgE・・・喘息などアレルギーを引き起こす抗体です。
IgA	免疫グロブリンA	
IgM	免疫グロブリンM	
IgE	免疫グロブリンE	
C3	補体第3成分	SLE(全身性エリテマトーデス)、関節リウマチなどの膠原病や腎疾患、肝疾患を調べる検査です。
C4	補体第4成分	
CH50	血清補体価	補体の総活性を調べる検査であり、主に肝疾患、膠原病や腎臓病を調べる検査です。
Hp	ハプトグロビン	感染症、自己免疫疾患などの炎症性疾患で増加します。
TF	トランスフェリン	各組織へ鉄を運搬する糖蛋白質で、鉄代謝を調べる検査です。鉄欠乏状態で増加し、慢性感染症や悪性腫瘍で低下します。
CRP	C反応性蛋白	肝臓で産生される蛋白質であり、感染症や組織壊死などの炎症性疾患で上昇します。
Na	ナトリウム	血液中の電解質の濃度です。 体液のバランス維持、神経・筋肉の機能に必要であり、様々な疾患を調べる検査です。
K	カリウム	
Cl	クロール	
IP	無機リン	副甲状腺ホルモンやビタミンDによって調節される無機物です。副甲状腺機能や骨疾患などを調べる検査です。
Ca	カルシウム	生体内に最も多く存在する無機物です。 無機リンとともに評価することで、副甲状腺機能や骨疾患などを調べる検査です。
BUN	尿素窒素	腎機能を調べる検査です。腎機能が悪くなると増加します。
CRE	クレアチニン	
UA	尿酸	痛風やプリン体代謝を調べる検査です。尿酸値には男女差が認められます。
AMY	アミラーゼ	唾液腺疾患と膵疾患を調べる検査です。耳下腺炎や膵炎で高値となります。
P-AMY	膵型-アミラーゼ	

略称	検査項目	説明
Mg	マグネシウム	腎機能、消化管機能を調べる検査です。
TP	総蛋白	血液中に含まれる蛋白質の総称です。栄養状態の指標になります。
ALB	アルブミン	肝臓で合成される蛋白質で、総蛋白の50～70%を占めています。肝機能、栄養状態、腎機能を調べる検査です。
TB	総ビリルビン	肝炎、閉塞性黄疸で高値になります。
DB	直接ビリルビン (直接Bil)	肝臓や胆嚢を調べる検査です。肝障害などで高値になります。
TC	総コレステロール	主に肝臓で合成され脂肪の吸収を助けています。肝機能や腎機能を調べる検査です。
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	主に心臓、筋肉、腎臓、肝臓に分布している酵素です。心筋梗塞、筋疾患、肝疾患などを調べる検査です。
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	主に肝臓に含まれる酵素で、肝臓の機能などを調べる検査です。
ALP	アルカリフォスファターゼ	肝臓や胆道、骨、小腸、胎盤、腎臓など様々な臓器に分布している酵素です。胆道疾患などを調べる検査です。
CHE	コリンエステラーゼ	主に肝臓で合成される酵素で、肝臓の機能を調べる検査です。栄養状態の指標になります。
LD	乳酸脱水素酵素	赤血球、肝臓、筋肉など様々な場所に分布している酵素です。心筋梗塞、溶血、肝臓の機能などを調べる検査です。
CK	クレアチンキナーゼ	骨格筋や心筋に存在する酵素で、心筋梗塞や骨格筋障害などを調べる検査です。
CK-MB	クレアチンキナーゼMB(心筋由来)	CKの一種で、心筋に分布する酵素です。心筋梗塞などの心疾患を調べる検査です。
γ-GTP	γ-グルタミルトランスペプチダーゼ	肝臓や胆道などを調べる検査です。
TG	中性脂肪	食べ過ぎ、アルコールの飲みすぎ、肥満で高値になります。また、動脈硬化でも高値になります。
HDL-C	HDLコレステロール	善玉コレステロールと呼ばれています。低下すると動脈硬化を促進させます。
LDL-C	LDLコレステロール	悪玉コレステロールと呼ばれています。増加すると動脈硬化を促進させます。
Fe	血清鉄	血液中の鉄は鉄輸送蛋白であるトランスフェリンと結合して輸送されておりこれを血清鉄と呼びます。UIBCとは鉄と結合していないトランスフェリンのことであり、鉄と結合できるトランスフェリンがどれだけあるかを示します。どちらも鉄代謝を調べる検査に用いられます。
UIBC	不飽和鉄結合能	
FERR	フェリチン	鉄を体内に貯蔵するための蛋白質で、鉄欠乏性貧血などの鉄不足を調べる検査です。
NH3	アンモニア	肝硬変、肝臓がんなどで肝臓の機能が低下すると高値になります。
GLU	血糖	インスリンなどの糖調節ホルモンと組み合わせて、糖代謝を調べる検査に用いられます。糖尿病などで高値になります。
Hb-A1c	ヘモグロビンA1c	ヘモグロビンに糖が結合した糖化ヘモグロビンを調べる検査で、過去約2カ月の血糖値の評価に用いられます。
GA	グリコアルブミン	糖化されたアルブミンを調べる検査で、過去1～2週間の血糖値の評価に用いられます。
preALB	プレアルブミン(TTR)	栄養状態や肝機能を調べる検査です。
RBP	レチノール結合蛋白	
RF	リウマトイド因子	自己抗体で、関節リウマチや膠原病を調べる検査です。

略称	検査項目	説明
MMP-3	マトリックスメタロプロテナーゼ3	MMP-3は軟骨を破壊する酵素で、関節リウマチで産生されます。関節リウマチや膠原病を調べる検査です。
血清 β2-MG	血清β2マイクログロブリン	β2-MGは、血液、尿、髄液、唾液など広く分布しています。 血清中のβ2-MGは、腎機能不全、多発性骨髄腫などで高値になり、 尿中のβ2-MGは、腎臓の尿細管障害で高値になります。
尿中 β2-MG	尿中β2マイクログロブリン	
NT-proBNP	N末端プロ脳性ナトリウム利尿ペプチド	主に心臓で分泌され、心不全などを調べる検査です。
PCT	プロカルシトニン	全身感染症、細菌性敗血症などを調べる検査です。
hs TnT	高感度トロポニンT	心筋に存在する蛋白質で、心筋の障害を調べる検査です。
KL-6	KL-6	間質性肺炎などのとき高値になります。



検査項目のおはなし < 2025年版 >



— 検査結果をより良く理解していただくために —

略称	検査項目	説明
intact PTH	インタクト副甲状腺ホルモン	副甲状腺から分泌されるホルモンで、副甲状腺機能やCa代謝などを調べる検査です。
FT3	遊離トリヨードサイロニン	FT3、FT4は甲状腺から、TSHは下垂体から分泌されるホルモンで、それぞれを組み合わせることで甲状腺機能を調べる検査です。
FT4	遊離サイロキシン	
TSH	甲状腺刺激ホルモン	
LH	黄体形成ホルモン	
FSH	卵胞刺激ホルモン	脳の下垂体から分泌されるホルモンで、下垂体ホルモンを調べる検査です。LH、FSHは性腺刺激ホルモンであり性腺の機能評価に用いられます。
PRL	プロラクチン	
IRI	インスリン	
血清CPR	血清C-ペプチド	膵臓からインスリンとともに分泌されるペプチドで、糖尿病などの糖代謝異常を調べる検査です。
尿CPR	尿C-ペプチド	
HCG+β	ヒト絨毛性ゴナドトロピン+βサブユニット	胎盤から合成される糖蛋白質ホルモンで、子宮外妊娠や胎盤機能などを調べる検査です。
E2	エストラジオール	卵巣の機能を調べる検査です。卵巣や黄体、胎盤の働きがわかります。
PROG	プロゲステロン	
CORT	コルチゾール	副腎から分泌されるホルモンで、糖代謝、蛋白質代謝や脂質代謝などを調べる検査です。

略称	検査項目	説明
AFP	α -フェトプロテイン	悪性腫瘍の可能性を調べる検査です。良性疾患で高値となる場合もあります。 一種の補助的診断方法のため、他の検査とあわせることで診断の手助けになります。 AFP・・・肝臓癌 PIVKA-Ⅱ・・・肝臓癌 CEA・・・大腸癌、肺癌 sIL-2R・・・悪性リンパ腫など CA125・・・卵巣癌 CA19-9・・・膵臓癌、胆管癌 PSA・・・前立腺癌
PIVKA-Ⅱ	PIVKA-Ⅱ	
CEA	癌胎児性抗原	
sIL-2R	可溶性インターロイキン2受容体	
CA125	CA125	
CA19-9	CA19-9	
PSA	前立腺特異抗原	
Free-PSA	遊離前立腺特異抗原	
F/T比	Free-PSA/Total PSA比	



ホルモン基準範囲 < 2025年版 >

検査項目	群		基準範囲	単位
	性	性周期		
LH	男	—	2.2~8.4	mIU/mL
	女	卵胞期	1.4~15	
		排卵期	8~100	
		黄体期	0.5~15	
		閉経期	11~50	
FSH	男	—	1.8~12	mIU/mL
	女	卵胞期	3~10	
		排卵期	5~24	
		黄体期	1.3~6.2	
		閉経期	26~120	
PRL	男	—	4.29~13.69	ng/mL
	女	閉経前	4.91~29.32	
		閉経後	3.12~15.39	
HCG+β	男	—	≤2	mIU/mL
	妊婦	3週	5.8~71.2	
		4週	9.5~750	
		5週	217~7138	
		6週	158~31795	
		7週	3697~163563	
		8週	32065~149571	
		9週	63803~151410	
		10週	46509~186977	
		12週	27832~210612	
		14週	13950~62530	
		15週	12039~70971	
		16週	9040~56451	
		17週	8175~55868	
18週	8099~58176			

検査項目	群		基準範囲	単位
	性	性周期		
E2	男	—	14.6~48.8	pg/mL
	女	卵泡期	28.8~196.8	
		排卵期	36.4~525.9	
		黄体期	44.1~491.1	
		閉経期	≦47.0	
	妊婦	初期(4~13週)	208.5~4289	
		中期(14~27週)	2808~28700	
後期(28~38週)		9875~31800		
PROG	男	—	≦0.2	ng/mL
	女	卵泡期	≦0.3	
		排卵期	≦5.7	
		黄体期	2.1~24.2	
		閉経期	≦0.3	
	妊婦	初期(4~13週)	13.0~51.8	
		中期(14~27週)	24.3~82.0	
後期(28~38週)		63.5~174.4		



検査項目のおはなし < 2025年版 >

— 検査結果をより良く理解していただくために —

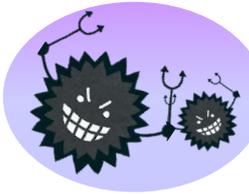
略称	検査項目	説明	
動脈血	pH	<p>様々な機能の維持のために、体内のpHは非常に狭い範囲で最適化されています。この時の酸と塩基のバランスを酸塩基平衡といいます。</p> <p>pH、HCO₃、pCO₂、BE、Ca²⁺は酸塩基平衡の指標であり、呼吸機能や腎機能、糖尿病などの代謝異常で影響を受けます。</p> <p>pO₂、SO₂、pCO₂はガス交換の指標であり、呼吸機能や心機能で影響を受けます。</p> <p>COHbは血中の一酸化炭素濃度を調べ、乳酸は呼吸不全、循環不全の評価に用いられます。</p>	
	pCO ₂		二酸化炭素分圧
	pO ₂		酸素分圧
	HCO ₃		重炭酸イオン濃度
	SO ₂		酸素飽和度
	BE		
	Lac		乳酸
	Ca ²⁺		カルシウムイオン
	COHb		一酸化炭素ヘモグロビン



検査項目のおはなし < 2025年版 >

— 検査結果をより良く理解していただくために —

略称	検査項目	説明
定性検査	尿蛋白	腎疾患の指標となる検査です。 腎臓の病気(ネフローゼ症候群、腎炎など)以外でも、妊娠高血圧症、発熱、運動後などで尿中に出てくることがあります。 月経中は経血が尿に混入して陽性となることがあります。
	尿糖	血糖値が160~180mg/dLを超えると尿中に糖が出てきます。糖尿病でなくても尿中に糖が検出されることがあります。
	尿潜血	腎臓や尿路系の出血の有無を調べます。肉眼ではわからないほどの出血量でも検出できます。腎炎、結石、膀胱炎などで陽性になることがあります。 月経中は経血が尿に混入して陽性となることがあります。
定量検査	尿TP	尿中の蛋白質を調べる検査です。 腎機能障害や尿路系疾患で高値になります。
	尿微量ALB	尿中のアルブミンを調べる検査です。 糖尿病性腎症などで高値になります。
	尿NAG	N-アセチル-β-グルコサミニダーゼ 腎機能障害を調べる検査です。早朝尿は高値になります。



検査項目のおはなし < 2025年版 >

— 検査結果をより良く理解していただくために —

略称	検査項目	説明
RPR定性		梅毒感染を調べる検査です。 RPRは、梅毒以外でも陽性になることがあります。 TP抗体は、梅毒の既往を判定します。
RPR定量		
TP(梅毒)抗体	TP抗体定性	
TP定量	TP抗体定量	
	HBs抗原定量	B型肝炎のウイルス感染を調べる検査です。
	HBs抗体	
	HBc抗体	
	HBe抗原	
	HBe抗体	
	HCV抗体	C型肝炎のウイルス感染を調べる検査です。
	HIV抗原・抗体	エイズのウイルス感染を調べる検査です。
	抗HTLV抗体	成人T細胞白血病やHTLV-1関連脊髄症のウイルス感染を調べる検査です。
抗核Ⅰ 抗核Ⅱ	抗核抗体	自分の体を異物(抗原)と誤認して生じる抗体を自己抗体といいます。その中で自分の細胞の核を抗原とみなして攻撃するものを抗核抗体といいます。膠原病などのときに陽性になります。